

出題分析			
試験時間	60分	配点	100点
		大問数	3題
分量 (昨年比較)	[減少 同程度 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>時代別では例年に引き続き原始からの出題がなく、古代から現代までの出題であった。分野別では昨年度出題された文化史の大問がなくなり、比重も大きく減少した。また、Ⅱでは株仲間解散令に関する史料も出題され、一部には史料文を知らないと解答が難しい問題も見られた。問題数は選択問題が3問増加したことに加え、30字の論述問題が1問出題された。問題数の増加や論述問題の出題も見られたが、苦手な受験生が多いであろう文化史や戦後史の大問がなくなり、標準的な設問が中心であったため難化した昨年度と比較すると全体的に易化したといえるだろう。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	古代～近代の東アジア	<p>古代から近代の政治・外交を問う出題。問1(1)(2). 安帝についてはやや細かく、迷うだろう。(19)(20). 最初の遣唐使派遣が舒明天皇の治世下であることを意識できていたかどうか。(21)(22). やや難。右大臣になったのは吉備真備だが細かいため、69. 南淵請安や70. 旻とも迷うだろう。(35)(36). 江華島事件は1875年に起き、翌年の日朝修好条規による朝鮮開国のきっかけとなったことをおさえておきたい。(37)(38). 「1884年」をヒントに解答したい。1882年に起きた43. 壬午軍乱と誤らないように。問2. c. やや細かいが、商学部では過去にも出題されている。「裔」の字にも注意。</p>	標準

設問別講評			
II	江戸時代の経済・商業	江戸時代の経済・商業を問う出題。問 1 (41) (42). 江戸時代も石高制により土地の基準が定められていたことをおさえておきたい。(59) (60). 62. 札差, 69. 両替商の混同に注意。札差は旗本・御家人に支給される米の換金を請け負い, 両替商は金銀の交換などを行った。(75) (76). 江戸地廻り経済圏を想起したい。(69) (70). (77) (78). (79) (80). 一部の教科書に掲載があるものの, 史料の内容を覚えていなければ迷っただろう。問 2. d. やや難。問 3. 株仲間が物価を操作していたことを中心に触れる必要があった。	標準
III	オリンピックと社会	オリンピックの開催に関連して, 近代から現代の政治・経済・文化など様々な内容を問う出題。(115) (116). 類似の選択肢があり迷うか。問 2. b. 空欄前後の判断が細かいことに加え, 江崎玲於奈の記述も難。問 3. (1). 天賦人權思想 (論) とその内容については, 過去にも出題があるため慶應義塾大学の受験者であればおさえておいてほしい。(2). 鞍山製鉄所の「鞍」の字に注意。(3). やや難。新渡戸稲造が国際連盟の初代事務局次長となったことについては細かい。	標準

合格のための学習法

慶應義塾大学商学部の日本史は, 今年度は昨年より易化したものの, 例年は文化史や戦後史を中心とした大問や時事問題などの出題が見られ, 教科書に記載のない難問が出題されることもある。そのため, 教科書の範囲内の問題は確実に得点することが肝要である。また, 今年度は史料に関する出題が見られたため, 教科書に掲載されている史料にも目を通しておきたい。時代比率は年度によって変化するので, 全時代をきちんと学習しておこう。昨年度は出題がなかったが, 例年短文記述問題が出題されており, 今年度は 30 字の論述問題が出題されたため, 日頃から歴史用語や事項を 20~40 字で説明する練習をしておくとういだろう。